

言葉の力、文学の力

万葉集で「多摩の横山」と詠まれた多摩丘陵。

その大自然の中に横たわる私たちの町田市は

四季折々の景趣に富み、多くの文化人が訪れ、愛した地。

室町時代、観阿弥は小野路を舞台に謡曲を作り

江戸時代、松尾芭蕉は旅の途中に相原を訪れ

明治の歌人坂倉うた女も山崎町で歌道の研鑽を積みました。

遠藤周作は作家人生の多くを玉川学園で過ごし

三浦しをんも町田からパワーをもらったといっています。

言葉は意味を持ち、言葉の粒を紡いだ文学作品は

時を経ても色褪せることなく

私たちの心を潤わせてくれます。

時には生きるヒントとなり、人生を導いてくれます

古来から沢山の作品がこの地で生まれたことは

大きな誇りであり、未来へ続く希望です。

私たちは多くの文学作品に触れて

もっと豊かな人生を歩めるのかもしれない